

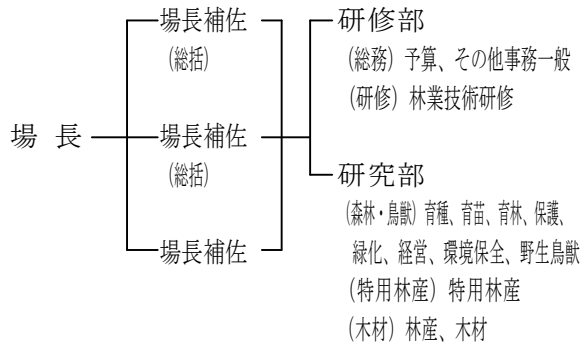
IV その他の場務

1 場務関係

(1) 来場者数（本場）

種 別	件数	人 数
林業関係等	122	2,493
そ の 他	2	1,000
計	124	3,493

(2) 機 構



(3) 職員数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

職 種 別	職員数	備 考
場 長	1	
場長補佐(行)(総括)	1	
場長補佐(行)	(1)	兼研修部長
場長補佐(研)(総括)	(1)	兼研究部長
研 修 部 部 員(行)	5	(場長補佐 兼部長 1)
部 員(研)	11	(場長補佐 兼部長 1)
研 究 部		
特用林産事務嘱託員	1	
木材加工技術嘱託員	1	
モニタリング嘱託員	1	
合 計	21	

(行政 6、研究 12、その他 3 名)

(4) 施 設

① 土 地

種 別	面 積(ha)
苗 畑	0.90
採種園 (アカマツ)	2.00
採種園 (スギミニチュア)	0.12
樹木園	1.18
見本林	0.40
特用樹林	0.80
シイタケほだ場	0.50
建物敷地他	4.06
本 場 計	9.96
実験林	61.53
塩野室育種地	32.29
祖母井採種園	1.19
21 世紀林業創造の森※	23,189.11
場 外 計	23,284.12
合 計	23,294.08

※借受不動産

② 主な建物

種 別	面 積(m ²)
本 館	1,198
研修館	674
実習舎 (2 棟)	431
作業舎 (2 棟)	174
温 室 (2 棟)	193
農具舎 (2 棟)	83
堆肥舎 (2 棟)	96
昆虫飼育室	22
種子乾燥舎	63
薬品保管庫	18
車 庫	103
林業生物工学棟	320
塩野室作業員詰所	45
塩野室宿舎兼事務所	54
研修宿泊棟 (21 世紀林業創造の森)	677
実習棟 (21 世紀林業創造の森)	280
森林交流館 (21 世紀林業創造の森)	349
木材加工試験棟	700
木材性能試験棟	499
傷病鳥獣救護施設 (県民の森)	245
その他	884
合 計	7,108

(5) 平成 25 年度決算額調

① 一般会計歳入

款	項	目	決算額(円)
分担金及び負担金	負担金	労働費負担金	6,298
		農林水産業費負担金	37,643
使用料及び手数料	使用料	農林水産使用料	149,507
諸収入	受託事業収入	林業振興受託収入	1,300,000
		雑収入	98,098
合 計			1,591,546

② 一般会計歳出

款	項	目	決算額(円)
総務費	総務管理費	一般管理費	4,200
		人事管理費	18,825
		財産管理費	2,360,610
衛生費	環境対策費	環境対策費	144,051
労働費	失業対策費	雇用対策総務費	1,553,211
農林水産業費	林業費	林業総務費	42,141,428
		林業振興費	17,680,446
		森林病虫害防除費	35,360
		造林費	1,823,585
		鳥獣保護費	10,404,940
		自然保護費	132,300
		合 計	76,298,956

③ 県営林特別会計歳入

款	項	目	決算額(円)
財産収入	財産売却収入	不動産売却収入	117,600
合 計			117,600

④ 県営林特別会計歳出

なし

2 研究資料整備

受入種別	資料の種類	発行所種別	整備数(点)
購入	単行書		1
	定期刊行物		86
	計		87
寄贈 保管転換	単行書		9
	研究報告 年報 各種統計 雑誌	林野庁・森林管理局・森林管理署	7
		森林総合研究所	58
		都道府県及びその他試験研究機関	66
		公立研究機関・博物館	13
		その他公的機関	6
		森林等関係団体	23
		大学	34
	その他	184	
計		400	
合計		487	

※資料は書籍のほか、冊子、DVD、CDRを含む

3 啓発指導

(1) 相談業務

林業センターでは、緑化をはじめ森林・林業・木材等に関する相談に応じている。平成25年度における相談件数は293件で、その内訳は次表のとおりであった。

平成25年度相談業務実績

区分	件数	主な相談内容
造林・育苗	16	・造林木の品種及び育苗 ・天然絞の品種 ・人工林の間伐
緑化	15	・緑化木の増殖・移植法 ・庭木の剪定法 ・樹種名の同定
保護	65	・樹木の病虫害防除・樹勢回復 ・松食い虫の防除時期・薬剤等 ・ツツジ等付着の地衣類の防除
特産	76	・野生きのこの同定について ・きのこの栽培について ・きのこ放射能について
林産	144	・スギ・ヒノキの人工乾燥技術について ・耐力壁のせん断試験等接合・構造強度について ・各樹種の強度等について ・新製品等開発について
計	316	

(2) 公開デーの開催

当場の業務内容を広く県民にアピールするため、平成25年8月25日（日）に林業センター公開デーを開催した。当日の入場者は1,100名であった。

(3) 試験研究発表会の開催

日頃取り組んでいる試験研究等の内容を、森林・林業・木材関係者等に周知するため、平成26年2月14日に会場内において第48回森林・林業試験研究発表会を開催した。当日の入場者は130名であった。

- ①造林部門・・・1 課題
- ②特用林産部門・・・5 課題
- ③環境部門・・・1 課題
- ④鳥獣部門・・・2 課題
- ⑤木材部門・・・9 課題
- 計 18 課題

(発表内容は次ページのとおり)

(4) 刊行物の刊行等

「林業センターホームページ」については、内容の充実に努めた。

(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d57/index.html>)

第 48 回森林・林業試験研究発表会発表課題一覧

部 門	発 表 タ イ ト ル	発 表 者 (所 属)
造 林	素材の安定供給に向けた生産量の拡大及び木質バイオマス利用促進に資する高効率・低コストな伐採及び施業方法の解明Ⅱ	野澤彰夫 (林業センター)
環 境	森林の水質保全機能に関する調査研究	荻原香大 (保健環境センター)
鳥 獣	シカを誘引して捕獲する 1 ～待ち受け型誘引狙撃法の試み～	丸山哲也 (林業センター)
鳥 獣	シカを誘引して捕獲する 2 ～誘引式くくりわなの試み～	丸山哲也 (林業センター)
特用林産	放射性セシウムで汚染された原木しいたけの汚染経路	大橋洋二 (林業センター)
特用林産	放射性セシウムで汚染された環境が原木しいたけ栽培に与える影響	大橋洋二 (林業センター)
特用林産	ほだ場の除染方法と効果	長嶋恵里子 (林業センター)
特用林産	除染資材の特性	長嶋恵里子 (林業センター)
特用林産	生産工程管理マニュアルの重要管理項目と管理のポイント	石川洋一 (林業センター)
木材(乾燥)	内装材の品質・精度に有効な乾燥方法の開発 ～ステッカーマークの残存しない乾燥法 〈スギ赤身材を意識した研究〉～	安藤康裕 (林業センター)
木材(乾燥)	大規模木造建築物(栗野小校舎)に用いるスギ・ヒノキ構造材の乾燥法と強度性能～新たな蒸気式高中温乾燥と縦振動法による動的ヤング係数の測定(5,870本)～	安藤康裕 (林業センター)
木材(乾燥)	発熱量に寄与する木質バイオマスのエネルギー利用法(乾燥化)の検証～製材法と天然乾燥の関係解明～	大塚紘平 (林業センター)
木材(乾燥)	暴露試験(H18～H25)に基づく樹種別耐久性の検証(スギ・ヒノキ・ベイマツ・ベイツガ・ベイスギ・WW集成材・RW集成材 etc)	篠崎武彦 (林業センター)
木材(強度)	背割り加工がヒノキ柱材の座屈、曲げ及びせん断性能に及ぼす影響	亀山雄搾 (林業センター)
木 材 (木質構造)	木造住宅耐力壁等の構造及び接合強度に関する研究～とちぎ県産スギ板材を用いた耐力壁・床構面の性能評価～	大野英克 (林業振興課)
木 材 (新開発)	とちぎ県産「ヒノキ構造用材合板」の製品化と強度性能の検証	亀山雄搾 (林業センター)
木 材 (新開発)	とちぎ県産スギ・ヒノキ材を用いた”フリー板(幅はぎ面材)”の開発・検証	大塚紘平 (林業センター)
木 材 (木質構造)	門型フレーム工法(木質ラーメン)の開発及び先進的木造建築物の普及	大野英克 (林業振興課)